

## 【参考資料】

※ 本資料は 2006 年 3 月 10 日に BASF 本社が発表した情報の抄訳です。

2006 年 3 月 24 日

## BASF、「イノベーション」と「ポートフォリオの最適化」 により農業製品部門を強化

- パイプライン強化により、ピーク時売上 19 億ユーロの可能性
- 新規殺虫剤を開発中
- EBITDA 対売上比 25%の目標を上回る(2005 年)

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)の農業製品部門は、革新的な新製品の投入により、利益ある成長を目指すという戦略を継続しています。同部門は 2005 年、前年比 11%増の 3 億 300 万ユーロにおよぶ研究開発費を投じました。投資の成果は着実に上がっており、革新的な有効成分のパイプラインからもたらされるピーク時売上は、前回発表時より 1 億ユーロも上回る 19 億ユーロになると期待しています。

BASF は過去 5 年間に 8 種類の農薬向け新規有効成分を上市し、そのピーク時売上は計 12 億ユーロが見込まれています。この中には、2005 年後半に上市した殺菌剤のメトラフェノンも含まれています。

新製品導入の成功は、利益の拡大に大きく貢献しています。特別項目を除く EBITDA (金利・税金・償却前利益)の対売上比率は 26.9%と、農業製品部門が目標とする 25%を 2 年連続で上回りました。

同部門の開発パイプラインは、今後何年間も新製品を出し続けると期待されています。また、BASF では現在、除草剤耐性プロジェクトに注力するとともに、2005 年に開発段階に進んだ新規殺虫剤を含む、6 種類の有効成分の開発を推進しています。これらの製品は 2006 年度以降に上市が期待され、ピーク時 7 億ユーロの売上が見込まれています。

BASF では、特に新規殺菌剤と殺虫剤、そして特殊な使用方法である種子処理など革新的な製品・技術の開発、つまり、『イノベーション』によって、利益ある成長を実現したいと考えています。研究者チームの強化により研究開発活動をより効率的に管理し、製品の市場投入期間短縮に向けた取り組みも継続していきます。

農業製品部門では、上記以外の戦略的目標として資源とコストの厳格な管理を挙げています。収益性の高い革新的な製品に重点を置きながらも、成熟分野やコア以外の分野ではコストと資源の最適化を引き続き行っていく予定です。2005 年には、より専門的な企業に適した製品であるとの判断から、トリホリン殺菌剤とホレート殺虫剤、そして欧州以外におけるイマザメタベンズ除草剤の事業を売却しました。さらに、ブラジルのレゼンデにあった製造プラントも、エンプロイー・バイアウト(EBO:従業員グループによる事業の買収)によって売却しました。

BASF アグロ株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ  
住所: 〒106-0032  
東京都港区六本木 1-4-30  
六本木 25 森ビル 23 階  
TEL: 03-3586-9911  
FAX: 03-3586-9710  
URL: www.basf-agro.co.jp

また製品ポートフォリオの絞りこみについても、今後も継続して行われます。2000年には300種類以上あった有効成分の数を、2006年には、2005年末からさらに25%ほど絞り、約100種類とする計画です。最終的には、60種類ほどのコアな有効成分に集約していく計画です。このような合理化を通じ複雑さを排除することで、革新的な新製品を市場に送り出すことに全エネルギーを集中できるようになると考えています。

#### ■BASF 農業製品部門売上高について(2005年度)

▪ 売上高	32億 9,800万ユーロ
▪ 地域別内訳:顧客の所在地で分類	
ヨーロッパ	43%
北米(NAFTA)	29%
南米、アフリカ、中東	20%
アジア・太平洋	8%
▪ 製品別内訳	
殺菌剤	13億 1,000万ユーロ
除草剤	12億 2,200万ユーロ
殺虫剤およびその他農薬関連製品	7億 6,600万ユーロ

#### ■BASFの農業製品部門について

BASFの農業製品部門は、定評ある革新的な殺菌剤、殺虫剤、除草剤を提供し、農業における強力なパートナーとして業界をリードしています。2005年度の売上高は32億 9,800万ユーロでした。同部門の製品・サービスは、農業の生産性と農作物の品質向上に役立てられているほか、環境衛生、害虫・シロアリ駆除、およびゴルフ場や家庭園芸、公園等の植生管理、林業など、非農耕地向けにも利用されています。BASFの農業製品部門は世界をリードするイノベーターとして、農業生産を最適化し栄養価を高めることにより、世界的な人口増加の中、人々の生活の質を向上させることをビジョンとしています。詳細については[www.agro.basf.com](http://www.agro.basf.com)をご覧ください。

#### ■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFでは、新技術の開発により新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことでより良い未来に貢献しています。約8万1,000人の従業員を擁するBASFは、2005年度には427億ユーロを超える売上高を計上しました。BASFの株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。同社のインターネットホームページアドレスは[www.basf.com](http://www.basf.com)です。BASFジャパン(株)のインターネットホームページのアドレスは[www.basf-japan.co.jp](http://www.basf-japan.co.jp)です。

#### ■本件に関するお問合せ

BASF アグロ株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 川端 TEL: 03-3586-9911

ヒル アンド ノウルトン ジャパン株式会社(広報代理)

担当 野田 TEL: 03-5768-8400